

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう！

『日刊動労千葉』100号突破にあたって

日刊動労千葉

79.4.25

No. 100

国鉄動力車労働組合
千葉地方本部

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二五八九・公衆（四三）二七二〇七

「日刊動労千葉」は、ついに本号をもって第一〇〇号を達成した。
本年一月八日、わが動労の大改革と激動の八十年代を闘う労働運動の再生をめざし、一四〇〇組合員の総決起のもとで全国の闘う仲間との連帯を求めて「日刊動労千葉」は、発行された。
そして、編集、印刷、配布を中心とする日刊体制は、本部暴力集団からの熾烈な攻撃と対決し、闘い抜く中で堅持され、保障されてきた。
「日刊動労千葉」編集委員会は、この日刊体制確立のために奮闘された各支部闘争委員会をはじめとする全組合員、家族、さらには定期講読されている全国の多くの仲間の皆さんに心から感謝するとともに、「日刊動労千葉」が確実に所期の目的を達成しつつあるという確信と誇りをもって一〇〇号達成を報告する。

闘いの武器として重要な役割をはたす「日刊動労千葉」

この間、「日刊動労千葉」のはたしてきた役割とその全国的な影響力は、誠にばかり知れないものがある。

昨年末以降、強められてきた本部・革マル分子によるわが動労千葉に対する排除・組織破壊策動を一つ一つ暴露し、それを未然に粉碎してきた。そして逆に、本部・革マル分子に対し全国の闘う仲間へ決起をよびかけ、動労内に大きな流動をもたらし、革マル分子をますます追い詰め、孤立化させるという極めて重要な役割を果たしてきた。

「日刊動労千葉」を四万八千組合員の闘う指針としよう！

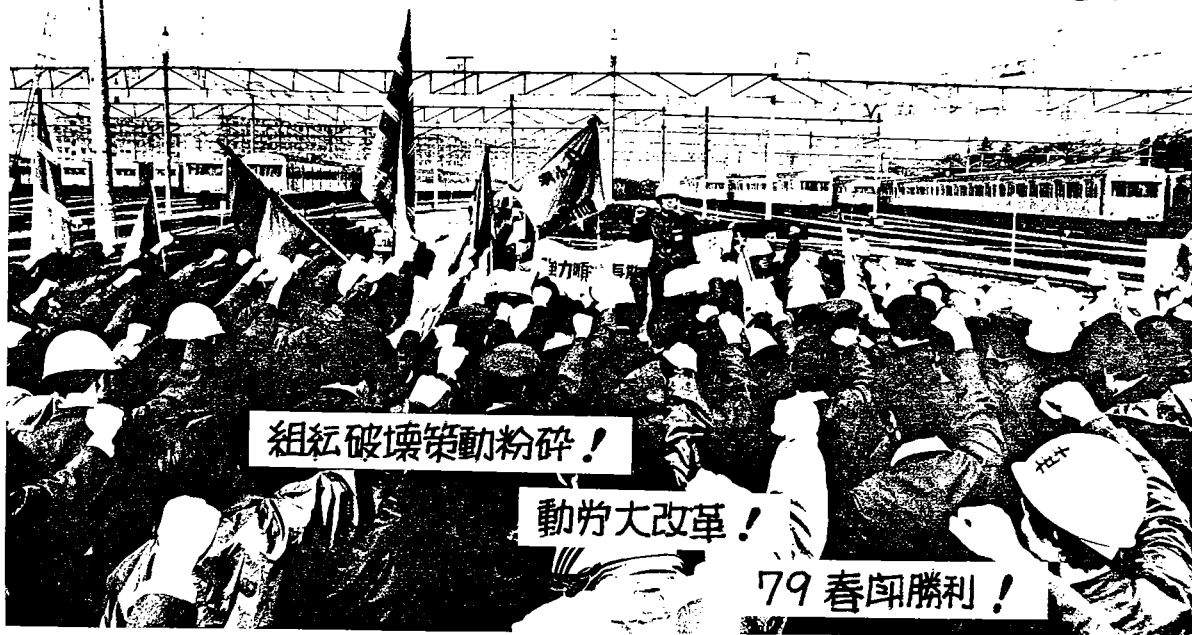
現在、本部暴力集団は、七九春闘、統一地方選挙など一切の闘争課題を放棄し、わが動労千葉破壊のためにのみ全力をあげている。

しかも、彼ら本部暴力集団は、国鉄当局に対し「動労千葉の日常化したバリケード」などとデッチ上げて、この撤去を要求する順法闘争を四月二三・二四日に予定するという（これは当然にも事前に破産してしまつた。）極めてハレンチな、反動的行為を強めている。

本部暴力集団は、こうして自らの不正義性と反階級性ゆえに、ますます四万八千組合員から孤立化を深めている。

従って、彼ら本部暴力集団は、ますますその反動性をむき出しにしておそいかかってくるであろうが、われわれ一四〇〇組合員は、ますます強固に団結をかため、全国の良心的、戦闘的仲間とともに、動労大改革を勝ちとり、激動の八十年代を闘う労働運動の再生にむけて奮闘するであろう。

「動労千葉」の旗のもと 1,400の更なる団結と奮躍を！



あらゆる破壊策動を粉碎し、団結署名と支部結成大会の圧倒的成功をかちとり、4・25・27決戦ストを断固闘い抜こう！

いよいよ本日より、七九春闘4月末決戦ストに突入した。

わが動労千葉も、①大巾賃上げ、②団交権その他労働基本権の確立を闘いの目標として、全支部が次ぎつぎとストライキに突入しようとしている。本部暴力集団のあらゆる破壊攻撃を粉碎し、この決戦ストを断固として闘い抜こう！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！